



2019年11月、子どもの権利条約は採択から30周年を迎えます。

子どもの権利条約は、18歳未満を子どもと位置付け、世界のすべての子どもたちに、自らが権利を持つ主体であることを約束しています。

「子どもの権利条約」は、世界で最も広く批准されている国際人権条約です。

■ 1989年11月20日、「子どもの権利条約」採択

30年前、世界で一つの歴史的な出来事がありました。世界のリー



©UNICEF/Ruby Mera

国連総会で「子どもの権利条約」を採択

ダーたちが国連に集い、話し合い、世界の子どものための重要な決断をしました。そこで生まれたのが、すべての子どもの権利を定めた「子どもの権利条約」です。

「子どもの権利条約」は、1989年の

誕生以来、世界の子どもの状況の改善に大きな役割を果たしてきました。多くの国々が、この条約でうたわれている子どもの権利の実現と、子どもたちが直面する課題の解決に向けて、法律や政策を改め、予算をふやし、力を注いできました。

■ 課題解決の原動力にも

それらの成果の一つとして、年間1250万人だった5歳未満児死亡数は、年間540万人へと半減しています。そして、多くの子どもたちが学校に通えるようになり、児童労働から解放されたことで、子ども



©UNICEF/UN0252805/Schermbrucker

治療により HIV の母子感染を予防することができた、アントワネットさんと娘のナターシャちゃん（カメルーン）

らしく生き、自らの持つ能力を最大限に伸ばす機会を得ることができるようになりました。「子どもの権利条約」は、人身売買や性的搾取などといった子どもを取り巻く課題に対して、国際社会が一丸となって取り組む原動力にもなっています。

■ 子どもの権利条約、196の国と地域が締約

1989年に採択された子どもの権利条約は、2019年11月20日で採択から30年の月日が経過します。

30年前、ユニセフは、子どもの声を代弁する国連機関として、「子どもの権利条約」の草案づくりにも参加し、各国がこの条約に入るよう懸命に働きかけました。

そうした成果が実り、2019年現在、「子どもの権利条約」は、国連加盟国数を上回る196の国と地域で締約され、世界で最も広く受け入れられている人権条約となりました。とても素晴らしいことである一方で、「子どもの権利条約」を締約しただけでは、子どもの権利は守られるようになりません。

子どもに関わるすべての人が、この条約にうたわれている権利が実現されるように取り組むことが必要です。そして何よりも、子どもたち自身が、自分たちの持つ権利について知り、学び、声を上げていくことがとても大切です。

■ すべての子どもに、子どもの権利を

この30年で、世界は大きく変化し、子どもを取り巻く環境も劇的に変わりました。しかしながら、子どもが子どもらしく生き、健やかに成長し、未来を描けるように、すべての人が努力しなくてはならない、ということはいつの時代にあっても同じです。

現在の世界を見わたすと、4人にひとりの子どもが災害や紛争などの緊急事態にある国や地域で暮らし、移民や難民となって移動している子どもも大勢います。インターネット上で被害を受ける子どもを保護するかなど、新たな課題も生まれています。

ユニセフは「子どもの権利条約」のもと、過去も現在も、すべての子どもが、子どもの権利条約で保障された権利を享受できるように、世界中で活動しています。（日本ユニセフ協会ホームページから抜粋）



©UNICEF/UN0279229/JohnIsaac/UN Photo

1989年11月19日、子どもの権利条約採択について国連オフィスに報告するボーイスカウトの男の子たちと、ユニセフ事務局長ジェームス・グラント（写真左）、ユニセフ親善大使オードリー・ヘップバーン



© UNICEF/UN046741/Hague

ユニセフが支援する就学前教育に参加する子どもたち（バングラデシュ）

2019年5月 事務所を移転 しました

新事務所 〒630-8253

な し は ら
奈良市内侍原町6番地の1 奈良県林業会館2F

高天交差点(近鉄奈良駅西口を出る)を北へ200m 東側

（最終ページに地図を掲載しています）

電話、FAX、メールアドレスは変更なしです

こちらにお出かけの際は、是非お立ち寄りください！

2019年 1月～7月 活動報告

2019年 2月

「カレンダー・チャリティー頒布」を行いました

文房具の伊東屋(東京)さんから寄贈のカレンダー



2019年2月、日本ユニセフ協会の紹介で、文房具の伊東屋



(東京)さんから、動物カレンダーや日めくり、万年カレンダーなど、上質でかわいいカレンダー(新品)をたくさんいただきました。

これまでは各企業から自社カレンダーの提供をお願いしてカレンダー募金を行っていましたが、今回は寄贈いただいた伊東屋さん取り扱いの26種類のカレンダーを県ユニセフ協会の事務所に展示し、会館勤務や来館の方に呼びかけて、「カレンダー・チャリティー頒布」を行いました。

今年のカレンダーを買いそびれた方、もう1つあったとしてもいいかなと思っておられる方など、皆さまのご協力を得て、寄贈していただいた50部のカレンダーは早々に頒布終了しました。

奈良市はぐくみセンター

「使用済み切手」回収ボックスを設置

市民の皆さんからご協力をいただいています



昨年7月から、奈良市はぐくみセンターの1階ロビーに、使用済み切手の回収ボックスを設置し、市民の皆さんに使用済み切手回収を呼びかけてご協力をお願いしています。



はぐくみセンターのご厚意により、県ユニセフ協会をはじめ6団体がそれぞれ回収箱を設置し、使用済み切手やペルマーク、使用済みインクカートリッジ、折り畳み傘などを回収しています。

県ユニセフ協会では、切手以外に未使用や書き損じのはがきも寄付を呼び掛けており、多くの方から回収にご協力をいただいています。

2019年 4月・5月・7月

「境内や参道」「駅前広場」で
ユニセフ募金を呼びかけました

春から初夏にかけて、大勢の観光客で賑わう奈良公園内の興福寺の五重塔付近と東大寺の南大門前、近鉄奈良駅前広場において、今年もボランティアの皆さんによる街頭募金が行われました。



4月20日、興福寺の五重塔の前。初夏のような日差しの中、日焼けを気にしつつ。

5月19日、東大寺南大門前の参道で、立正佼成会の皆さんと一緒に！



7月8日、東大寺南大門前の参道。様生昇陽高校生と一緒に！



5月22日、近鉄奈良駅前の広場。奈良公園の玄関口にて。



興福寺五重の塔前／東大寺南大門前／近鉄奈良駅前広場

募金協力(学校・その他団体) 2019年1月～6月
ご支援ありがとうございました！

奈良県協会へのご連絡・ご持参分(敬称略) 本部への直接振込分を除く

浄教寺子ども会、浄教寺定例会、元興神倶楽部
三碓小学校、ガールスカウト奈良県連盟、富雄南中学校生徒会
国際ソロプチミスト奈良-まほろば、様生昇陽高校
奈良中学生サッカーフェスティバル実行委員会
奈良女子大学附属中等教育学校、佐保ゴルフ倶楽部
市民生活協同組合ならこープ、立正佼成会

学校内募金等の贈呈式にお伺いいたします。ご連絡ください。

ユニセフ映画会

映画会「いのちのはじまり」子育てが未来をつくる

開催日 2019年 9月28日(土) 14:00～
会場 奈良市 中部公民館 第4講座室
入場料 無料
定員 60名(事前に当協会へお申し込みください)



©The Beginning of Life

開催のお知らせ(予告)

ユニセフ写真展

写真展「長谷部誠大使がたどる“ワクチンの旅”」

開催日 2019年10月8日(火)～20日(日) 休館日 10/15
9:00～20:00
会場 奈良県図書情報館
セミナールーム前
入場料 無料



©日本ユニセフ協会/Ayene

学校・団体紹介(ユニークな活動への取り組みを紹介します)

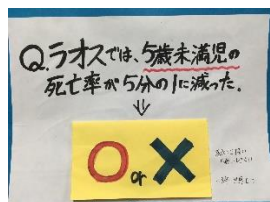
奈良女子大学附属中等教育学校 4学年3生徒

校内でユニセフ募金を呼びかけ

各クラスを回って手作りのチラシを配布

奈良女子大学附属中等教育学校では、3年生総合学習「世界Ⅰ」の後半でグループ研究を行っています。2018年度の落葉典義教諭担当クラスでは、「机上で学ぶだけでなく、行動することで世の中を変える」ことが目標でした。瀬古薫奈さん、森嶋真屋さん、西田莉穂さんのグループが選んだ研究テーマは「健康と福祉」。3人は研究を進めるにあたって奈良県ユニセフ協会を訪問、現地の子どもたちの生活状況やユニセフ活動について学びました。

研究に取り組む中で、厳しい環境に置かれた世界の子どもたちの状況を知り、少しでも自分たちにできることはないかを考えて、学校内で募金活動を行い、研究テーマに合致した活動を行っているユ



O×クイズを作成しクラスを回って募金を呼びかけ

ニセフに寄付することにしました。

「100円でできること」「ユニセフってなあに？」等とともに、生徒が興味を持ちやすいように左のようなO×クイズを作成。3人で手分けして1学年から5学年の15クラスを回り、昼の会などでユニセフ募金を呼びかけました。「高学年への説明は」

ボランティア活動日誌

「ユニセフと私の子育て」 安田和子(ボランティア)

23年前の師走の寒空の下、奈良そごうで4歳の娘と募金活動をした事が懐かしく思い出されます。「寒い中よく頑張ったね」の労いの言葉に、訳も解からずに達成感のようなものを感じ、赤いほっぺをして「またするの」と笑っていました。

彼女が10歳に成長した秋の事です。児童会から配られたユニセフの募金袋を私に見せたので、「今週のお小遣い分を入れたら」とさりと答えた私。しかし、娘の胸にはある思いが既にあったのです。

次の日の午後、担任の先生が突然自宅に來られ、募金袋を置いて帰られました。中身はなんと2万円。10人の子どもの健康に必要なワクチンと予防接種を計算してお年玉の貯金箱から入れたのだと答える娘。それを聴いて、うなだれながらもほっこり感に包まれている私。これがきっかけとなり、二人で募金の仕組みや平和について学ぶ良い機会を得ることができました。

そんな娘も去年社会人となり、新しい命と向き合う産婦人科医として生きる道を選びました。そんな彼女と共に、一人でも多くの子どもの辛い涙が減ることを祈り続けたいと思います。



とても緊張した」とのこと。

集まった募金を3人で県ユニセフ協会へ持参。はしかワクチン、治療用ミルク、浄水剤、HIV/AIDS診断キットなどのユニセフ支援ギフトに募金をし



掲示板に募金の使途を報告

て、当初の目的を達成し、各学年前の掲示板に報告しました。

募金活動を行って、「100円のありがたさを再認識した」「大変だったけれど募金箱にコインを入れてくれてうれしかった」との感想が聞かれました。ありがとうございました。

グループホーム「どんぐり」さんから

今年も

たくさんの使用済み切手をいただきました

関係先の皆さんにも協力を呼びかけ



奈良市中山町にある共同生活介護のグループホーム「どんぐり」さん。

3月に袋いっぱいの使用済み切手を「どんぐり」さんから頂きました。

「どんぐり」さんでは、人とのかわりを大切に、様々な方の協力を得て色々な活動を行ってられます。その1つが、使用済み切手を集めてユニセフに寄付するボランティア活動です。使用済み切手回収のボランティア活動は、開始して今年で11年目を迎えました。

使用済み切手は、ホームが中心となって入居者の家族の方、介護・看護スタッフ、他の福祉施設や取引企業・団体の皆さんに呼びかけて回収します。ホームに入居の認知症をお持ちの9名の高齢者の皆さんが、回収された使用済み切手を切り取り整理し、持参していただきました。



子どもの権利条約 4 つの柱

生きる権利

育つ権利

守られる権利

参加する権利

ご協力、ありがとうございました！

2019年1月～2019年6月までの間、奈良県ユニセフ協会にお寄せいただいた募金総額は、

¥2,406,879.- にのぼりました。

皆さまの温かいご支援に心よりお礼を申し上げます。

※振込用紙の通信欄に「県協会コード K1-290」とご記入いただいた分も含みます



出前学習会のご案内

— 出前学習会を行いませんか —

奈良県ユニセフ協会ではスタッフが学校を訪問して学習を行う、出前学習（講師派遣）を行っています。

映像や体験などを取り入れ、「今、世界でどんなことが起きているのか」「世界の子供たちはどんな生活をしているのか」を学びます。



蚊帳つりを体験

（事務所までお問い合わせください。）

DVD や教材の貸し出しも行っています

賛助会員募集

日本ユニセフ協会の趣旨に賛同して下さる会員を募集しています。

賛助会員とは、日本ユニセフ協会と奈良県ユニセフ協会の運営を、年会費によってご支援いただく方法です。

種類	対象	賛助会費	賛助会員期間
一般賛助会員	個人の方	1口5千円	入会月～1年間
学生賛助会員	18歳以上の学生の方	1口2千円	入会月～1年間
団体賛助会員	団体・法人・企業	1口10万円	入会月～1年間

- * 一般・学生賛助会員は、個人名でのお申し込みに限ります。
- * 賛助会費は寄付金控除の対象になります。
- * 会員期間は入会月から一年毎の更新となります。
- * 賛助会費は、1口以上何口でもご協力いただけます。

外国コイン募金

旅行や出張で海外に行ったことがある方なら、余ったコインや紙幣がお手元に残っていませんか？

一部の国の紙幣を除けば、外国通貨は日本では両替することができません。記念品やおみやげにするのも楽しいですが、余ったコインを世界の子供たちのために役立ててみてはいかがでしょうか。



日本ユニセフ協会では民間企業5社の協力をいただき、こうしたコインを海外に輸送することでユニセフの活動資金にする「ユニセフ外国コイン募金」を行っています。

ご協力をお願いいたします。

* 奈良県ユニセフ協会事務所へご持参いただくか、または普通郵便や宅配便で奈良県ユニセフ協会事務所へお送りください。（送料はご負担願います。）



あなたの身近に、眠っている外国コインありませんか？

編集後記

子どもには安心安全な水、栄養ある食事の摂取、病気やケガに必要な医療、教育が受けられる、虐待や搾取から保護される、自由な意思表明や参加、いかなる理由からも差別されない等、子どもの成長に必要な環境が求められています。

1989年11月に「子どもの権利条約」が国連で採択され、196の国や地域が条約を締結し、今年が条約締結後30年を迎える節目の年でもあります。



しかし、世界の各地では今でも部族紛争や戦争等によって、厳しい環境の中におかれている状況が報告されています。

県ユニセフ協会では、講演会・写真パネル展のほか、各種イベントや募金活動等の機会をとらえ、すべての子どもたちが健やかに成長できる世界の実現を目指して、皆様のご理解とご協力をお願いしております。

(M.K.)

※ 鹿のイラストはすべて、ボランティア大西好美さんの作品です。



奈良県ユニセフ協会

〒630-8253

奈良県奈良市内侍原町6番地の1 奈良県林業会館2階

TEL: 0742-25-3005 / FAX: 0742-25-3008

E-mail: unicef-n@m4.kcn.ne.jp

ホームページ: <http://www.unicef-nara.jp/>

※事務所開所日: 月・火・水・木 11:00~16:00

募金して頂ける方、ユニセフDVD等の資料をご入用の方、ユニセフ支援ギフトにご協力いただける方など、お気軽にお越しください。

※ 2019年5月 事務所を移転しました

(電話、FAX、メールアドレスは変更なしです)

